



「茨城の軍事基地」の著者が、満を持して連載開始!

「軍事国家への道を許さない」

平和かわら版で、23年3月より別刷りで掲載!

【1】私(著者)の問題意識

1. 憲法9条およびその前提の「戦争はもうしない」という日本の立ち位置や、国際公約的なものを投げ捨ててしまっている政治状況への告発が大事です。これは憲法学者や弁護士の方々に率先してやっていただきたいと思います。
2. 自衛という名目で、好戦的な雰囲気を作り出している世の中・マスコミへの警告を発することも大事です。歴史学者の方々に率先してやって頂きたい。
3. 日本の自衛隊の実力はとんでもなく強く、いまでも十分な国防能力を持っています。しかし指揮権は米軍が持っています(「秘密条約」によります)。今回整備しようとしている兵器体系は、先制攻撃用のものとなっていることの告発が必要です。掲載内容の一つはこの分野です。
4. アメリカ軍の実力や戦力、近隣諸国(中国・北朝鮮も含む)の軍事力の評価と危険度の冷静な判断が必要です。掲載内容のもう一つはこの分野です。

【2】茨城県としての情報

1. 私が、「茨城の軍事基地」を上梓してから30年近く経過します。その後は仕事の事もあり、調査活動に専念できませんでした。そのため、現時点での十分な資料が手元にありません。この点は重要なことですので、再度調査等を行っていきたく考えています。
2. 茨城の軍事基地は、GDP2%の軍拡との関係で大きく変貌することも予想されます。その部分の調査が必要です。
3. いわゆる「基地」ではないのですが、「通信機能」(軍事に提供されうる可能性があるもの。)が茨

城県には沢山あります。その調査も必要です。しかし調査は困難が予想されます。

4. 茨城県には多くの軍事の下請け企業があります。茨城県が兵站機能(軍事物資の調達等)を担う一大拠点になる可能性もあります。この部分の調査はさらに困難を極めると予想されます。

【3】「かわら版」に関して

1. 正確に記載することよりもわかりやすさを大事にした表現を採用したいと考えます(例:軍隊→自衛隊、誘導弾→ミサイルなどに)
2. 「わかりにくい」「専門用語すぎる」等のご指摘や声を頂けると助かります。



▲「茨城の軍事基地-その隠された危険な実態-」

●具体的には、10回程度を考えています。テーマによっては増えます●

大テーマ	小テーマ	主な内容
・国民を守る	・国を守る歴史が証明している海に守られている日本	元寇幕末の下関・薩英戦争沖縄戦
・国民の生活を 守る	・敵基地攻撃能力(先制攻撃能力)を持てば被害は0(ゼロ)というまやかし	先制攻撃とは何か? 先制攻撃の条件(国家体制が前提) 反撃の可能性
・国民を守る	・専守防衛の賢さ	専守防衛は可能(海およびチャフの活用) 戦争をしないこと(憲法前文)
・大きな軍事力を 持っている 自衛隊	・日本の軍事力の 世界ランキング	海上保安庁も軍隊GDPに入るものが日本は項目を少なくしている
	・航空自衛隊の実力	最新鋭の戦闘機 戦闘機の稼働率 パイロットと整備技術
	・海上自衛隊+海上保安庁の 実力	静音にすぐれた潜水艦 最新鋭の護衛艦 機雷除去技術はトップ
	・ロシア・中国・北朝鮮の 軍事力	日本を攻撃する際は海軍・空軍 ロシアの海軍は黒海へ 北朝鮮は漁船レベル 中国の基本は陸軍 対極超音速兵器は研究段階 弾道弾核ミサイルの対応はアメリカでも不可能
・整備しようとして いる兵器の 狙い	・スタンドオフ兵器	トマホーク 12式地对艦誘導弾能力向上型
	・侵略もしくは遠征	空中給油機 オスプレイ 無人機の怖さ
・他国との関係	・自衛隊の指揮系統は アメリカ	指揮権はアメリカ 日本の軍事独立にはアメリカは賛成していない
	・周辺国	脅威に感じるのが中国・北朝鮮
	・世界的に	脅威に感じる 日本ブランドの失墜へ
	・戦争が起きる可能性	